

白河市立大信中学校だより



三年先の稽古

令和6年8月29日

第24号

発行責任者：校長 亀田征利

教育目標
～ 夢を求め、健やかで
温かい生徒の育成 ～
たい たくましく健やかな生徒
い のちを尊ぶ温かな生徒
しん 真実と夢を追求する生徒

大健闘 中学校英語弁論大会

8月28日（水）に矢吹町文化センターで令和6年度東西しらかわ中学校英語弁論大会が行われました。本校からは学校代表として、暗唱の部で2年生の吉田真優さんが、創作の部で3年生の橋本和磨くんが出場しました。二人とも大勢の観客がいる中で、自分たちの力を十分に発揮することができました。日々の練習の大切さ、目標を持つ大切さ、何かを成し遂げようとする意志の大切さを再認識させられました。結果は、3年生の橋本くんが創作の部で6位に入賞しました。

夏休みを返上した練習お疲れ様でした。大会を通して、大きく成長した二人を頼もしく思います。※二人は壮行会時より、数段素晴らしい発表でした。文化祭で保護者の皆様には披露いたします。



<暗唱の部：吉田真優さん>



<創作の部：橋本和磨くん>

8. 27たいしん防災の日

1998年8月に県南地方を集中豪雨が襲い、これにより白河市北西部に位置する大信中学校は28日未明に裏山が崩落し4500立方メートル（プール7杯相当）の土砂に校舎が飲み込まれました。この土砂崩れにより、技術室、図書室、保健室、相談室、校庭体育小屋、自転車置場が全壊しました。

本校では、この水害を教訓として後世に伝え継ぐため、また、災害について全校生徒が学び、防災意識を高めるために令和2年度から8月27日を「8・27たいしん防災の日」と定め、防災・減災を題材とした学習を行っています。今年は8月27日（火）5校時目に避難訓練と併せて行いました。



<ここ数年間の取組>

- ① 全校生徒それぞれが住む地域ごとのグループに分かれ、調べ学習や現地取材を行ってきた。
- ② 当時の被害や防災・減災に向けた現在の取り組みを町内会長らにインタビューし、写真や図を使って新聞にまとめた。
- ③ 文化祭で展示や発表することで地域の方々に知らせ、風化させないようにしてきた。
- ④ 水害の教訓を後世に伝えるためのスローガンを考え発表し合ってきた。
- ⑤ 徒歩通学生徒もヘルメット持参で登下校してきた。また、学校内では、教室移動や集会の際でもヘルメットを持参している。